

病虫害発生予察 6月月報 (生育概況及び病虫害の調査結果)

令和6年6月の気象表(長野地方気象台発表)

官 署	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
長 野	本年	18.9	23.0	22.3	4.5	15.5	42.5	72.6	89.5	44.7
	平年	19.2	20.5	21.6	15.7	35.3	55.1	67.3	54.8	45.6
松 本	本年	18.5	22.5	22.0	8.5	45.5	104.0	70.9	86.1	47.2
	平年	18.9	20.2	21.6	17.5	42.8	54.5	66.2	54.5	45.6
諏 訪	本年	17.6	21.5	20.9	36.0	55.0	196.5	67.7	76.1	36.7
	平年	18.0	19.3	20.6	22.7	59.7	72.7	64.9	53.0	43.4
軽井沢	本年	13.9	18.0	18.4	61.5	43.5	117.0	57.1	81.5	31.6
	平年	14.5	16.1	17.5	29.1	64.4	61.1	60.5	47.3	38.7
飯 田	本年	19.0	21.6	22.1	15.0	85.5	215.5	66.0	68.9	33.8
	平年	19.3	20.7	21.8	33.5	67.4	91.0	61.9	52.4	41.4

中旬までは、前線が日本の南に停滞することが多く、長野県内は高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、雨や雷雨となった日もあった。下旬は、梅雨前線が北上し、本州付近に停滞することが多く、また低気圧が通過した影響で、曇りや雨の日が多くなり、大雨となった日もあった。

なお、気象庁は6月21日「(長野県を含む)関東甲信地方は、6月21日頃に梅雨入りしたと見られる。」と発表した(速報値)。これは平年より14日遅く(平年は6月7日頃)、前年より13日遅い(昨年は6月8日頃)梅雨入りであった。

1 麦

(1) 生育概況

第1表 麦の生育状況

須坂市(農業試験場作物部)

品 種 名	区分	成熟期	成熟期調査		
			稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)
ファイバースノウ (大麦)	平年	6/6	94	4.7	451
	前年	5/30	91	4.8	560
	本年	5/31	92	5.2	502
しろゆたか (小麦)	平年	6/14	81	8.6	563
	前年	6/14	90	8.1	590
	本年	6/12	85	8.7	673

<耕種概要>播種期:ファイバースノウ 令和5年10月25日
東山55号(しろゆたか) 令和5年10月25日

(注)ファイバースノウの平年値は過去7か年における最大値と最小値を除いた5か年の平均値
東山55号(しろゆたか)は供試年数が少ないため直近3年間平均値を平年値とした

(2) 病虫害の発生状況

①麦類の赤かび病

6月上旬の巡回調査では、南信地域で発生がみられ、南信地域での発病穂率、発生地点率は平年と比べ高かった。

②さび病

6月上旬の巡回調査では、コムギ赤さび病は東信地域、北信地域の発生地点率は平年と比べ高かったが、発病度は低かった。なお、中信地域、南信地域は発生はみられなかった。

③うどんこ病

6月上旬の巡回調査では、東信地域、中信地域の一部で発生がみられたが、発病度、発病地点率は平年と比べ低かった。

④小麦の土壌伝染性ウイルス病(コムギ縞萎縮病、コムギ萎縮病)

6月上旬の巡回調査では、中信地域、北信地域で発生がみられた。北信地域の一部では、発生面積が前年と比べ大幅に増加した(全県の発生面積65.5ha ※病虫害防除所調べ)。

2 水 稲

(1) 生育概況

第2表 イネの生育状況 須坂市（農業試験場）

品種名	区分	移植後 20 日			移植後 30 日			移植後 40 日		
		主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/m ²
あきた こまち	平年	6.3	26	213	8.0	35	427	9.4	47	612
	前年	6.4	28	151	7.5	37	425	9.3	45	640
	本年	6.4	28	187	8.1	37	433	9.3	52	596
コシヒ カリ	平年	6.4	29	233	8.2	38	474	9.5	51	644
	前年	6.2	31	115	7.5	38	305	9.5	45	503
	本年	6.4	29	194	8.2	40	475	9.4	54	649

*移植期：2024年5月20日

*平年は2017年から2023年までの収量の最多、最少を除いた5か年の平均値

第3表 イネの生育状況 原村（農業試験場原村試験地）

品種名	区分	移植後 20 日			移植後 30 日			移植後 40 日		
		主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/株	主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/株	主稈 葉数	草丈 cm	茎数 本/株
ゆめし なの	平年	5.7	29	85	7.3	34	198	9.0	53	425
	前年	6.4	36	144	7.9	40	280	9.6	54	576
	本年	5.6	35	82	7.5	40	285	8.8	50	373

*移植期：2024年5月23日

*平年は2017年から2023年までの収量の最多、最少を除いた5か年の平均値

(2) 病害虫の発生状況

①いもち病

AMeDASデータを用いた葉いもち感染予測モデル「BLASTAM」によると、6月～7月第3半旬の感染好適条件の出現頻度は、東信地域は平年と比べ少なかったが、北信地域ではやや多くなった（第4表）。

第4表 BLASTAMによる葉いもち感染好適条件出現回数(6月)

地域	東信	南信	中信	北信	全県
アゲス地点数	5	8	9	5	27
平年	12.7	18.0	17.9	14.4	63.0
本年	10	19	17	16	62
平年比(%)	78.7	105.6	95.0	111.1	98.4

※BLASTAMの判定結果は、JPP-NET（一般社団法人日本植物防疫協会）から引用。

平年は2014年から2023年までの平均値。

②ニカメイガ

小布施町（病害虫防除所）のフェロモントラップ調査では、第6半旬に1頭誘殺されたが、他の期間は誘殺がなかった（第5表）。

上田市（病害虫防除所）の予察灯では、6月の誘殺頭数は平年と比べ少なかった（第6表）。ただし、5月の誘殺頭数は平年並～やや多く、越冬世代成虫（第1世代）の発生時期は、平年と比べやや早かった。

第5表 ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺消長(頭)

		小布施町（病害虫防除所）					
区分	半旬	6月					
		1	2	3	4	5	6
平年		0.1	0	0	0	0.1	0.1
本年		0	0	0	0	0	1

平年は2014年から2023年までの平均値

第6表 ニカメイガ成虫の予察灯による誘殺消長(頭)

		上田市（病害虫防除所）					
区分	半旬	6月					
		1	2	3	4	5	6
平年		6.0	6.8	8.1	7.6	4.0	3.0
本年		3	3	2	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

③ツマグロヨコバイ

第1世代成虫のすくい取り調査は、捕獲頭数は全域で平年と比べて少なかった。

④ヒメトビウンカ

上田市（病害虫防除所）の予察灯では、6月第3半旬から誘殺され、6月第4半旬以降の誘殺頭数は平年と比べ少なかった。

須坂市（病害虫防除所）の予察灯では、6月第4半旬から誘殺され、誘殺頭数は平年と比べ多かった。

なお、その他4か所の予察灯では、6月中の誘殺はなかった。

⑤イネミズゾウムシ

AMeDAS気温データによる越冬後成虫の半数出現推定時期は、26地点中25地点が平年と比べ4日～10日早く、1地点が平年と比べ1日遅かった。

6月下旬の巡回調査では、東信地域、中信地域の越冬成虫寄生頭数は平年と比べやや多く、被害度もやや高かったが、全県では越冬成虫寄生頭数、被害度は平年並であった。

⑥イネドロオイムシ

6月下旬の巡回調査では、東信地域、中信地域の成虫及び幼虫の頭数は、平年と比べやや多かった。被害度は、中信地域は平年並、その他の地域は平年と比べやや低かった。県平均の被害度は平年と比べ低かった。

⑦セジロウンカ

県下6か所の予察灯では、誘殺はなかった。しかし、農業試験場環境部の予察灯（須坂市小河原）は、6月24日に6頭が誘殺された。

⑧トビイロウンカ

県下6か所の予察灯への誘殺はなかった。

⑨斑点米カメムシ類

予察灯のアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺頭数は、須坂市はほぼ平年並、上田市、伊那市、南木曾町は平年と比べやや少なく、飯田市、安曇野市は平年と比べ少なかった。

6月下旬の巡回調査（畦畔のすくい取り調査）では、斑点米カメムシ類の捕獲頭数は、中信地域、北信地域の一部のほ場は平年と比べ多かったが、その他の地域は平年並～やや少なかった。

3 **りんご**

(1) 生育概況

7月15日までの果実肥大は、つがるはほぼ平年並、ふじはやや大きい傾向である（第1表）。

第1表 りんごの果実肥大状況 須坂市（果樹試験場）

調査日	つがる								ふじ							
	横径(mm,%)				縦径(mm,%)				横径(mm,%)				縦径(mm,%)			
	平年	前年	本年	平年比												
6/1	29.2	34.1	31.5	108	28.5	34.0	31.8	112	27.1	34.1	31.4	116	27.2	33.7	29.9	110
6/15	42.8	47.8	44.4	104	39.4	45.1	42.7	109	39.6	43.7	41.4	105	36.1	41.4	37.4	103
7/1	57.9	61.9	56.1	97	50.9	56.6	52.8	104	51.4	53.9	52.5	102	44.4	49.4	46.2	104
7/15	69.9	72.6	68.0	97	60.2	65.8	62.4	104	61.9	63.4	63.1	102	52.3	57.7	54.5	104

平年は2009年～2023年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①赤星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

②うどんこ病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③褐斑病

巡回調査では、東信地域、中信地域で発生がみられたが、発生量は平年と比べやや少なかった。

須坂市（果樹試験場）内の無防除樹での新梢葉の発病は、6月25日に確認された。

④黒星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤斑点落葉病

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥腐らん病

巡回調査では、東信地域、北信地域で発生がみられ、発生量は平年並～やや多かった。

⑦アブラムシ類

巡回調査では、各地域で新梢の先端にみられ、発生量は平年並～やや多かった。

⑧キンモンホソガ

巡回調査では、各地域で寄生葉（マイン）がみられ、発生量は平年並であった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査では、6月第1、2半旬は平年と比べやや多く、発生時期は平年と比べやや早かった（第2表）。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	6月					
	1	2	3	4	5	6
平年	43.4	94.8	132.4	98.3	42.7	26.1
前年	82	177	320	66	84	31
本年	180	255	75	58	56	32

平年は2014年から2023年までの平均値

⑨シンクイムシ類

須坂市（果樹試験場）のモモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年と比べ平年並～やや少なかった（第3表）。

第3表 モモシンクイガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	6月					
	1	2	3	4	5	6
平年	5.3	10.1	8.9	7.4	7.2	5.1
前年	7	4	2	5	8	2
本年	0	6	0	4	4	0

平年は2014年から2023年までの平均値

⑩ハダニ類

巡回調査では、東信地域、中信地域、北信地域の一部のほ場でリンゴハダニ、ナミハダニの寄生がみられた。発生量は平年並～やや少なかった。

⑪リンゴコカクモンハマキ

須坂市（果樹試験場）の越冬世代成虫のフェロモントラップによる誘殺は、6月第6半旬までなかった（第4表）。

第4表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	6月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0.3	0	0	0	0	0
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

4 なし

(1) 生育概況

7月15日までの果実肥大は、平年並～やや大きい傾向である（第1表）。

第1表 なしの果実肥大状況（mm） 高森町（南信農業試験場）

品種	区分	6月1日		6月15日		7月1日		7月15日	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	26.5	26.1	39.4	31.3	39.4	36.4	49.1	44.5
	前年	30.8	30.3	46.1	35.2	46.1	43.2	58.5	54.1
	本年	27.4	28.2	42.4	33.4	42.4	39.8	53.6	48.9
	(平年比)	(103)	(108)	(108)	(107)	(108)	(109)	(109)	(110)
幸水	平年	26.7	23.3	42.8	29.2	42.8	35.5	54.3	44.4
	前年	30.0	26.1	46.8	31.4	46.8	39.5	61.7	51.2
	本年	26.7	24.0	43.0	29.6	43.0	36.2	55.8	46.2
	(平年比)	(100)	(103)	(100)	(101)	(100)	(102)	(103)	(104)
豊水	平年	28.4	26.8	42.7	32.6	42.7	38.6	52.6	47.0
	前年	31.4	29.0	47.8	34.8	47.8	43.3	61.6	55.2
	本年	27.3	26.3	41.0	31.7	41.0	38.8	52.2	49.1
	(平年比)	(96)	(98)	(96)	(98)	(96)	(100)	(99)	(104)

平年は、2001年から2020年までの平均値（幸水は長果枝と短果枝の平均）

(2) 病害虫の発生状況

①赤星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

②黒星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）の調査では、殺菌剤無散布の果実及び果そう葉の発病率は、平年と比べ低く傾向である（第2、3表）。

第2表 果実の発病（%） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月			7月	
	5日	15日	25日	5日	15日	25日	5日	15日
平年	13.8	26.7	29.1	40.3	49.4	52.7	67.7	75.1
前年	10.3	22.5	13.8※	59.8	65.4	78.2	88.0	96.6
本年	0.3	0.5	1.3※	1.2	1.2	21.7	22.1	59.7

平年は2014年から2023年までの平均値 「幸水」の殺菌剤無散布樹で調査

※：摘果後の調査結果

第3表 果そう葉の発病 (%)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	1.4	5.7	20.7	35.3	51.6	59.6
前年	0.0	5.3	10.1	33.0	61.6	71.5
本年	0.0	0.0	4.0	6.9	5.9	17.8

平年は2014年から2023年までの平均値 「幸水」の殺菌剤無散布樹で調査

③黒斑病

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町 (南信農業試験場) の調査では、アルタナリア属菌の孢子捕捉数は、5月上旬から増加し、平年並の飛散が確認されている (第4表)。

高森町 (南信農業試験場) の調査では、殺菌剤無散布の新梢葉の発病は平年並であったが、果実の発病は6月下旬からみられ、発病率は平年と比べやや多かった (第5、6表)。

第4表 アルタナリア属菌の捕捉孢子数 (個)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月			6月			7月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
平年	6.5	20.1	26.6	40.3	69.0	50.9	41.1
前年	6	53	48	23	19	50	22
本年	13	14	37	59	25	73	22

平年は2014年から2023年までの平均値

表中の数字は18mm×18mm当たりの孢子数 (個)

第5表 果実の発病 (「二十世紀」殺菌剤無散布樹) (%)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月			6月			7月	
	5日	15日	25日	5日	15日	25日	5日	15日
平年	0	0	1.2	3.7	8.5	19	37.3	68.6
前年	0	0	1.9	18.8	41.6	69.6	91.4	99.9
本年	0	0	1	9.5	11.1	45	65.4	95.8

平年は2014年から2023年までの平均値

第6表 新梢葉の発病 (「二十世紀」殺菌剤無散布樹) (%)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月			6月			7月	
	5日	15日	25日	5日	15日	25日	5日	15日
平年	0.1	0.3	3.0	6.2	10.6	21.6	29.6	40.8
前年	0.0	0.0	9.6	11.2	20.3	30.2	42.8	54.4
本年	0.0	0.5	0.9	11.4	10.5	17.5	21.1	40.4

平年は2014年から2023年の平均値

④カメムシ類

巡回調査では、被害果はみられなかった。

高森町 (南信農業試験場) のフェロモントラップによる誘殺頭数は、クサギカメムシは平年並、チャバネアオカメムシは平年並～やや多かった (第7表)。

第7表 カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

高森町 (南信農業試験場)

区分	月	6月					
	半月	1	2	3	4	5	6
クサギカメムシ	平年	0.2	0.1	0.1	0.1	0.4	0
	前年	0	0	0	0	0	0
	本年	0	1	0	0	0	0
チャバネアオカメムシ	平年	2	2	1.1	0.9	2.3	3.5
	前年	0	0	1	0	0	1
	本年	1	0	8	0	6	5

平年は2014年から2023年までの平均値

⑤ナシヒメシクイ

巡回調査では、被害果はみられなかった。

高森町 (南信農業試験場) でのフェロモントラップによる誘殺頭数は、6月第3半月は平年と比べやや多かった (第8表)。

第8表 ナシヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺消長 (頭)

高森町 (南信農業試験場)

区分	6月					
	半月	1	2	3	4	5
平年	0.5	0.6	0.3	1.3	0.8	0.9
前年	0.5	0.5	0	3	1.5	1.5
本年	0	3.5	7	0.5	3.5	0.5

平年は2014年から2023年までの平均値

⑥ハダニ類

巡回調査では、中信地域の一部のほ場で寄生がみられたが、発生量は平年並であった。

⑦リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺は、平年並であった（第9表）。

第9表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
高森町（南信農業試験場）

区分	6月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	1.2	0.6	0.3	0.1	0.1	0
前年	2	0	0	0	0	0
本年	0	0.5	0.5	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

5 **もも**

(1) 生育概況

7月13日までの果実肥大は、「あかつき」「川中島白桃」とともに、平年と比べ大きい傾向である（第1表）。

第1表 ももの果実肥大状況 須坂市（果樹試験場）

品種名	月日	横径(mm)			縦径(mm)			側径(mm)			平年比		
		平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	横径	縦径	側径
あかつき	6/29	51.8	58.9	55.3	52.3	56.6	58.4	49.7	59.3	54.6	107	112	110
	7/ 6	55.9	63.2	62.2	55.8	60.7	64.2	55.0	65.3	63.4	111	115	115
	7/13	61.1	70.3	68.4	60.1	66.6	69.6	61.7	75.2	71.7	112	116	116
川中島白桃	6/29	49.5	57.7	55.0	49.6	56.5	56.1	45.4	55.0	51.4	111	113	113
	7/ 6	51.8	59.9	58.7	51.4	58.4	58.7	48.3	58.5	56.5	113	114	117
	7/13	54.7	64.5	63.3	53.8	62.1	63.2	52.0	64.2	63.1	116	117	121

平年は、あかつきは2011年から2023年まで、川中島白桃は2004年から2023年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①せん孔細菌病

巡回調査では、南信地域以外のは場で発病葉がみられ、発生量は平年並であった。発病果実はみられなかった。

②灰星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

③ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

④モモハモグリガ

巡回調査では、被害葉はみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査による誘殺は、平年と比べ少なかった（第2表）。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）
須坂市（果樹試験場）

区分	6月					
	1	2	3	4	5	6
半旬						
平年	44.1	58.2	21.7	16.4	9.4	15.0
前年	37	42	17	4	12	25
本年	3	5	2	2	1	5

平年は2014年から2023年までの平均値

⑤ハダニ類

巡回調査では、被害葉はみられなかった。

⑥アブラムシ類

巡回調査では、新梢への寄生はみられなかった。

⑦カメムシ類

巡回調査では、被害果はみられなかった。

6 **ぶどう**

(1) 生育概況

7月15日までの果実肥大は、平年と比べやや大きい傾向である（第1表）。

第1表 ぶどうの果実肥大状況 須坂市（果樹試験場）

品種名	調査日	横径(mm、%)				縦径(mm、%)			
		平年 (平均値)	前年	本年	平年比 (平均比)	平年 (平均値)	前年	本年	平年比 (平均比)
巨峰	7/ 1	15.6	17.0	20.4	130	18.2	21.0	23.4	128
	7/ 8	19.6	19.8	22.1	113	22.3	23.8	24.7	111
	7/15	21.9	21.4	23.0	105	24.4	25.1	25.3	104
ナガノパープル	7/ 1	(18.6)	20.4	22.7	(122)	(22.1)	21.7	25.9	(117)
	7/ 8	(23.0)	24.5	24.4	(106)	(27.3)	29.9	28.1	(103)
	7/15	(24.5)	26.3	25.4	(104)	(28.8)	31.8	28.7	(100)
シャインマスカット	7/ 1	(11.9)	13.9	16.3	(137)	(15.6)	18.8	22.4	(144)
	7/ 8	(16.5)	18.0	19.8	(120)	(22.0)	25.1	27.2	(124)
	7/15	(19.4)	20.8	21.0	(108)	(25.4)	28.3	28.5	(112)

平年は、巨峰は2006年から2023年までの平均値

ナガノパープル及びシャインマスカットは2016年から2023年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、果房への発病はみられなかった。

②べと病

巡回調査では、北信地域の1ほ場で、葉への発病が見られた。

③灰色かび病

巡回調査では、花穂への発病はみられなかった。

④黒とう病

巡回調査では、北信地域の1ほ場で葉への発病がみられ、果房への発病はみられなかった。

⑤クビアカスカシバ

小布施町（病害虫防除所）のフェロモントラップによる誘殺頭数は、平年並～やや多かった。

⑥チャノキイロアザミウマ

巡回調査では、被害葉はみられなかった。

7 **かき**

(1) 生育概況

開花期(盛)及び落花期は、平年と比べ7日早かった（第1表）。

7月15日までの果実肥大は、平年と比べ大きい傾向である（第2表）。

第1表 かきの生育状況 高森町（南信農業試験場）

品 種	区分	発芽期	展葉期	開花期		落花期
				始	盛	
市田柿	平年	4/ 5	4/21	5/29	5/31	6/ 5
	前年	3/25	4/11	5/26	5/26	5/31
	本年	4/2	4/18	5/22	5/24	5/29

平年は2001年から2020年までの平均値

第2表 かきの果実肥大状況

高森町（南信農業試験場）

品 種	区分	7月1日		7月15日	
		横径(mm、%)	縦径(mm、%)	横径(mm、%)	縦径(mm、%)
市田柿	平年	22.2	20.2	29.9	27.2
	前年	23.1	21.5	31.5	30.1
	本年 (平年比)	24.6 (111)	23.3 (108)	32.3 (108)	30.8 (113)

平年は2001年から2020年までの平均値

(2) 病害虫の発生状況

①うどんこ病

巡回調査では、発生がみられなかった。

②円星落葉病

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）での孢子飛散状況は、平年と比べ少なかった（第3表）。

第3表 カキ円星落葉病の子のう胞子の捕捉数

高森町（南信農業試験場）

区分	6月						7月		
	1	2	3	4	5	6	1	2	3
平年	8.7	13.6	22.9	22.0	38.6	52.3	57.7	59.2	66.6
前年	0.4	5.3	7.1	8.9	13.4	45.5	39.4	62.7	133.3
本年	1.3	0.3	0.5	—*	1.6	0.2	19.2	1.0	40.7

表中の数字は18mm×18mm当たりの胞子数（×1000個）

平年は2014年から2023年までの平均値 *：機器不具合による欠測値

④カキクタアザミウマ

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑤ハマキムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

⑥フジコナカイガラムシ

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町（南信農業試験場）のフェロモントラップによる誘殺はなかった（第4表）。

第4表 フジコナカイガラムシのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

樹種：かき

高森町（南信農業試験場）

区分	6月					
	1	2	3	4	5	6
平年	16.4	2.6	0.2	0.7	1.2	1
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

8 **う め**

(1) 病害虫の発生状況

①かいよう病

巡回調査では、発生はみられなかった。

②黒星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

9 **野菜・花き**

(1) 病害虫の発生状況

①トマトの病害虫

巡回調査では、南信地域、中信地域の施設（半促成）栽培で、灰色かび病の発生がみられた。

虫害では、東信地域の露地栽培、中信地域の施設（半促成）栽培、露地栽培でアザミウマ類、南信地域、北信地域の施設（半促成）栽培でコナジラミ類、東信地域、南信地域、中信地域の露地栽培でアブラムシ類の寄生がみられた。

②きゅうりの病害虫

巡回調査では、中信地域、北信地域の施設（半促成）栽培で、5月に引き続き、うどんこ病の発生がみられた。

虫害では、南信地域の施設栽培、中信地域の施設（半促成）栽培、北信地域の施設（半促成）栽培及び露地栽培でアザミウマ類、北信地域の施設（半促成）栽培及び露地栽培でアブラムシ類、中信地域の施設（半促成）栽培でハダニ類の寄生がみられた。

③アブラナ科野菜の病害虫

巡回調査では、東信地域のキャベツ及びブロッコリーの一部のほ場でべと病、はくさいの一部のほ場で根こぶ病及び軟腐病、中信地域のキャベツの一部のほ場で黒斑細菌病、はくさいの一部のほ場で軟腐病の発生がみられた。

虫害では、東信地域のキャベツの一部のほ場でコナガ及びウワバ類、ブロッコリーでコナガ、ウワバ類、南信地域のキャベツでコナガ、ブロッコリーでウワバ類及びチョウ目害虫（ヨトウ類、アオムシ）、中信地域のキャベツの一部のほ場でアブラムシ類、コナガ及びチョウ目害虫（ヨトウ類）、はくさいの一部のほ場でアブラムシ類、キャベツの一部のほ場でアブラムシ類、コナガ及びチョウ目害虫（ヨトウ類）、北信地域のキャベツでウワバ類の寄生がみられた。

その他、加害種は確認できなかったが、各地のキャベツ、ブロッコリー、東信地域のはくさいでチョウ目害虫の食害痕がみられた。

④レタスの病害虫

巡回調査では、東信地域及び北信地域の一部のほ場ですそ枯病、斑点細菌病、中信地域の一部のほ場で斑点細菌病の発生がみられ、斑点細菌病の発病株率が高いほ場があった。

害虫の発生はみられなかった。

⑤アスパラガスの病害虫

巡回調査では、北信地域及び南信地域の一部のほ場で茎枯病の発生がみられた。

虫害では、南信地域及び北信地域の一部のほ場でアザミウマ類の寄生がみられ、南信地域、中信地域及び北信地域の一部のほ場ではアブラムシ類の寄生がみられた。

また、南信地域ではハダニ類の寄生がみられた。

⑥たまねぎの病害虫

巡回調査では、北信地域で黒斑病、べと病、中信地域でべと病の発生がみられた。虫害は、中信地域及び北信地域でアザミウマ類、中信地域でハモグリバエ類の寄生がみられ、特にアザミウマ類による被害が大きいところがあった。

⑦ねぎの病害虫

巡回調査では、南信地域でさび病及び黒斑病の発生がみられた。虫害は、南信地域及び中信地域でアザミウマ類、ハモグリバエ類の寄生がみられ、どちらも多発状態だった。また、南信地域の一部のほ場ではアブラムシ類の寄生もみられた。

⑧コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、東信地域、南信地域及び中信地域のキャベツの一部のほ場、東信地域のブロッコリーで寄生がみられた。

フェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）、朝日村（地区予察ほ）は6月第5半旬までは平年に比べ少なかったが、第6半旬に急増した。小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）は全般的に平年に比べ多く、原村（防除決定ほ）は第2半旬までは平年に比べ多く、どちらも第3半旬以降は平年並～少なく推移した。上田市菅平（地区予察ほ）、長野市上ヶ屋（地区予察ほ）は平年並～少なかった（第1表）。

第1表 コナガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	6月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	16.1	14.9	13.8	12.2	17.8	10.7
		本年	2	2	1	7	3	27
小諸市山浦 (野菜花き試験場 佐久支場)	レタス	平年	14.8	17.1	25.0	27.9	33.1	24.8
		本年	36	50	28	34	24	69
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.6	1.0	1.5	2.6	1.3	5.1
		本年	2	2	5	3	8	6
諏訪郡原村 (防除適期決定ほ)	ブロッコリー	平年	22.1	24.6	23.6	26.7	35.5	44.4
		本年	73	38	22	26	28	13
東筑摩郡朝日村 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	27.8	33.8	16.2	12.7	10.7	9.8
		本年	4	11	10	9	8	17
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	33.4	31.8	23.5	28.4	22.5	28.1
		本年	4	6	9	5	3	6

平年は2014年から2023年までの平均値

朝日村は2019年から2023年までの平均値

⑨オオタバコガ

巡回調査では、被害はみられなかった。

フェロモントラップによる誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）、小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）は全般的に平年並～多かったが、須坂市小河原（農業試験場）は平年に比べ少なかった（第2表）。

第2表 オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	6月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	4.8	6.5	3.7	3.7	2.4	2.6
		本年	8	6	7	3	9	9
小諸市山浦 (野菜花き試験場 佐久支場)	レタス	平年	7.6	8.3	5.8	6.8	3.8	5.8
		本年	8	20	28	20	6	28
須坂市小河原 (農業試験場)	レタス	平年	2.0	1.9	1.4	1.2	0.4	0.5
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

⑩ヨトウガ類

巡回調査では、南信地域のブロッコリー、中信地域のキャベツの一部のほ場で被害がみられた。

フェロモントラップによる誘殺頭数は、ヨトウガは全般的に平年に比べ少なかった（第3表）。

ハスモンヨトウは、塩尻市宗賀（野菜花き試験場）、須坂市小河原（農業試験場）は全般的に平年並～多かったが、上田市菅平（地区予察ほ）は平年に比べ少なかった（第4表）。

シロイチモジヨトウは、全般的に平年並～多かった（第5表）。

第3表 ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	6月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	7.0	8.5	7.1	9.4	4.8	4.8
		本年	13	5	3	2	2	3
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこ し・水稻	平年	3.1	1.3	1.0	0.2	0.0	0.0
		本年	1	0	0	0	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

第4表 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	6月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	2.4	3.3	3.4	5.2	4.9	5.9
		本年	0	8	11	7	13	12
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこ し・水稻	平年	1.0	1.6	3.6	3.2	5.1	6.5
		本年	2	9	4	20	56	0
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.3	0.7	0.8	2.2	4.2	5.7
		本年	0	0	1	1	0	0

平年は2014年から2023年までの平均値

第5表 シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	6月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (野菜花き試験場)	キャベツ・ はくさい	平年	1.0	0.3	0.9	0.7	0.5	1.5
		本年	0	3	1	0	3	4
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.0	0.0	0.2	0.5	0.8	0.2
		本年	0	13	10	3	4	0

平年は2014年から2023年までの平均値

長野市は2018年から2023年までの平均値

⑪ウワバ類（アブラナ科野菜）

巡回調査では、東信地域及び北信地域のキャベツの一部ほ場、東信地域及び南信地域のブロッコリーで被害がみられた。

⑫ハモグリバエ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、東信地域のきくで寄生がみられた。

⑬アブラムシ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、東信地域、南信地域及び中信地域のトマトの一部のほ場、南信地域、中信地域及び北信地域のアスパラガスの一部のは場、東信地域のばれいしょ、きく、南信地域のねぎの一部のは場、中信地域のキャベツ、はくさいの一部のは場、中信地域のすいか、北信地域のきゅうりの一部のは場で寄生がみられた。

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺頭数は、塩尻市宗賀（野菜野菜花き試験場）は平年に比べ少なく、小諸市山浦（野菜花き試験場佐久支場）、諏訪郡富士見町（防除決定ほ）は6月第2半旬までは平年並に推移したが、それ以降は平年に比べかなり多くなった。塩尻市洗馬（地区予察ほ）は第3半旬までは平年に比べかなり多く推移したが、以降は平年並となった。その他の調査地点については、全般的に平年並～少なかった（第6表）。

第6表 アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半旬	6月					
			1	2	3	4	5	6
塩尻市宗賀 （野菜花き試験場）	キャベツ・ はくさい	平年	16.4	12.9	18.6	21.4	25.9	18.5
		本年	4	4	8	4	2	2
小諸市山浦 （野菜花き試験場 佐久支場）	レタス	平年	28.3	19.4	30.3	26.0	22.3	34.0
		本年	23	38	98	48	27	57
上田市菅平 （地区発生予察ほ）	はくさい	平年	24.1	9.6	7.4	4.7	7.3	3.7
		本年	1	11	9	15	3	7
富士見町富士見 （地区発生予察ほ）	きく	平年	64.6	79.6	87.1	61.7	64.1	93.6
		本年	42	31	225	73	111	101
塩尻市洗馬 （地区発生予察ほ）	レタス	平年	45.6	38.9	44.2	44.8	64.9	45.6
		本年	58	126	73	41	27	49
長野市上ヶ屋 （地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	13.4	10.7	13.9	12.1	22.9	16.1
		本年	2	9	13	35	8	4

平年は塩尻市・小諸市・富士見町は2017年から2023年までの平均値
上田市・長野市は2018年から2023年までの平均値

⑭アザミウマ類（ネギアザミウマ、ミカンキイロアザミウマなど）

巡回調査では、南信地域、中信地域及び北信地域のきゅうり、東信地域、南信地域及び北信地域のアスパラガスの一部のは場、中信地域及び北信地域のたまねぎ、東信地域及び中信地域のトマトの一部のは場、南信地域及び中信地域のねぎ、東信地域のいちごで寄生がみられた。

青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺頭数は、上田市菅平（地区予察ほ）、長野市上ヶ屋（地区予察ほ）は全般的に平年と比べ多かった。諏訪郡富士見町（防除決定ほ）は全般的に平年並～少なかった。塩尻市洗馬（地区発生予察ほ）は第3半旬まで平年と比べ多かったが、4半旬以降は平年並だった（第7表）。

第7表 アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分 半旬	6月					
			1	2	3	4	5	6
上田市菅平 （地区発生予察ほ）	はくさい	平年	2.8	11.8	8.2	5.3	7.3	8.2
		本年	11	20	32	38	30	19
諏訪郡富士見町 （防除適期決定ほ）	きく	平年	8.0	13.6	32.9	11.9	15.1	30.1
		本年	5	2	9	10	6	5
塩尻市洗馬 （地区発生予察ほ）	レタス	平年	4.0	3.7	4.7	7.3	14.6	23.7
		本年	16	48	17	7	11	15
長野市上ヶ屋 （地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	2.0	3.7	3.2	4.5	14.8	29.3
		本年	16	33	47	77	68	61

平年は富士見町・塩尻市は2017年から2023年までの平均値
上田市・長野市は2018年から2023年までの平均値

⑮ハダニ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、南信地域のアスパラガスの一部ほ場、中信地域のきゅうりの一部ほ場で寄生がみられた。